

医療法人盟侑会 理念 「厚生盟侑」

不幸にして障害を持った患者さんを助け、
共に病と闘うことを盟(ちか)い合う
という意味を表現しています。

医療・看護・介護・理学療法・作業療法・心理療法等の各種専門家が集まり、子どもからお年寄りまで皆様一人ひとりの健康づくりのお手伝いをすることで地域の役に立ちたいと考えています。

理事長 横濱 栄子



お車での所要時間

- 札幌市街から約30分
- 札幌市街地から約20分
- JR島松駅から約3分
- JR恵み野駅から約3分

JRをご利用の方へのご案内

- JR千歳線(普通列車)千歳方面より 恵み野駅 下車
- JR千歳線(普通列車)札幌方面より 島松駅 下車
- ※時刻表・運賃については、JR北海道の時刻表案内をご参照ください

空港からのアクセス

- 新千歳空港から約20分
- 羽田空港から約120分

恵庭市内路線バスのご案内

- ecoバス「島松寿町南」で下車して徒歩約8分
- 中央バス停 北柏木から徒歩約10分
- 島松駅からは恵み野駅・恵庭駅方面行に乗車
- 恵み野駅からは島松駅方面行に乗車
- 恵庭駅からは恵み野駅・島松駅方面行に乗車

無料送迎バス運行中

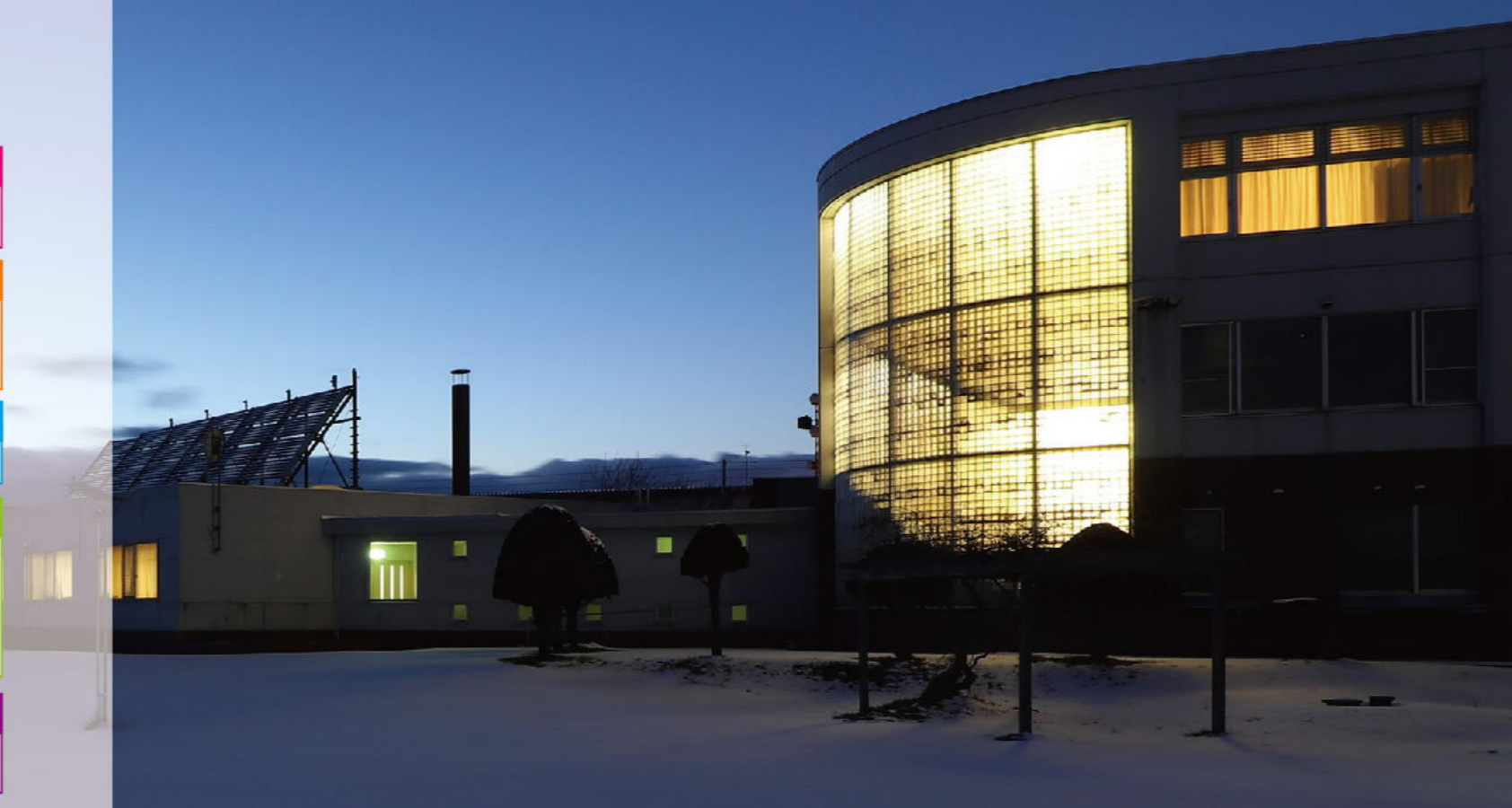
詳しくはホームページをご覧ください
<https://www.shimamatu.jp/access/bus.html>

医療法人盟侑会 広報誌

盟侑だより

Vol.20

令和2年1月



Contents

- 小野澤院長新年の挨拶
- 外来スケジュール
- 事務長就任の挨拶
- アートライフ恵庭
- 盟侑フライパン
- えにわ市民文化祭に参加して
- 保育所さんぽ

行事暦

島松病院	アートライフ恵庭
1月 新年会	1月 新年を祝う会
2月 節分会	2月 節分
	バレンタインお菓子作り
3月 ひな祭り会、雪融かバイキング	3月 寿司パーティー
4月 外食ツアー、春のゲーム大会	4月 春のデザート祭り
5月 お花見BBQ	ふれあいショッピング
6月 パークゴルフ大会	5月 グリーンコンサート
	6月 アートライフ祭り
	みんなでえ〜にわ探検II

医療法人盟侑会 精神科・神経科・内科 島松病院

〒061-1356 北海道恵庭市西島松570番地
TEL.0123-36-5181 FAX.0123-36-5184
ホームページ <https://www.shimamatu.jp/>
MAIL simamatu@shimamatu.jp

ご相談先

医療相談課 医療相談員までご相談下さい

島松病院 検索



医療法人盟侑会 介護老人保健施設 アートライフ恵庭

〒061-1356 北海道恵庭市西島松567番地1
TEL.0123-37-1511 FAX.0123-37-1516
ホームページ <https://www.artlife-eniwa.jp/>
MAIL artlife@artlife-eniwa.jp

ご相談先

支援相談課 支援相談員までご相談下さい

アートライフ恵庭 検索





新年あけましておめでとうございます。元号が令和になってから、初めての年明けになります。当初は、令和という文字に違和感がありましたが、いつの間にか自然に感じるようになりました。

医療界では、今後様々な変化が求められます。高齢化、少子化、就労人口の減少など時代に合わせて、柔軟に対応する能力が求められています。

当院では、引き続き保健所や近隣の医療機関との連携を強化し、地域医療に貢献したいと思っております。特に、認知症に関しては、診断や治療に関して、さらに適切な医療を提供し、地元地域に還元したいと思っております。

また、スタッフ一同が協力しながら、患者様や御家族から信頼される病院となるように精進したいと思っております。

本年も宜しくお願い申し上げます。

医療法人盟侑会 島松病院 病院長 小野澤 淳

02 外来スケジュール

外来受付時間 ● 新患・再来ともに午前8:00から午前11:30まで

午前	診療科目/曜日		月	火	水	木	金
	精神科	診察室1	高平	渡邊	高平	高平	渡邊
診察室2		小野澤	小野澤	服部	小野澤	服部	

※午後・夜間・土・日・祝日の診療は行っていません

03 事務長就任の挨拶

令和元年11月から事務長に就任致しました渋井徳身です。

島松病院は精神科医療に携わり昨年で35周年を迎えました。この間、精神科医療を取り巻く環境は時代と共に大きく変わって参りました。昨今、国は長期入院患者数の減少を中心とした指針案を示しております。当法人としても入院患者様の高齢化や入院長期化は時代に沿った流れを迎えており、これからも現状を見据えて今後の法人の将来を考える必要があります。

併設されるアトライフ恵庭との協力はもちろん、行政機関や地域社会との連携、そして職員がこれまで長年培ってきた力を一つに結ぶことが大切です。医療の世界は診療報酬に左右される部分が多いのですが、これからの厳しい情勢に左右されること無く、当法人は常に医療・介護の質の向上を目指し「患者様や地域の方に選ばれる法人」でありたいと考えております。

これからも地域に根ざした精神科医療及び介護を提供することで、患者様とご家族様の幸せにつながるよう、またその幸せを職員が共感できる職場環境を作るよう努力して参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

事務長(島松病院及び介護老人保健施設アトライフ恵庭兼務) 渋井 徳身

令和元年11月より事務長(島松病院及び介護老人保健施設アトライフ恵庭兼務)に就任いたしました齊藤です。皆様、よろしくお願いいたします。

現在、国は平成24年度の介護保険制度改正により医療と介護の連携、施設から在宅へのシフトを打ち出し、高齢者の尊厳を保ちながら住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、地域包括ケアシステムを令和7年度までに完成しようと推し進めているところです。

平成30年度の診療報酬と介護報酬の同時改定では、これを踏まえての改正となりましたが、言うは易く行うは難しく、実際に歩を進めていくことは大変なことだと思っております。

当法人の対応といたしましては、介護老人保健施設の目的である、利用者様の能力に応じた自立と在宅支援・在宅復帰を目指すことを強く推し進めるため、令和元年8月から「在宅強化型」の体制を整えました。これを継続することが一番難しいところですが、職員が一同に必要な体制だと理解していただき、まさに「ONE-TEAM」を目指して、取り組んでおります。

また、地域支援としては、母体である島松病院との連携により、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所アートプラン、恵庭市の委託事業であります認知症初期集中支援チームのサポートが確立され、迅速で安心安全な対応を引き続き行って参ります。

現在までのわたしは、介護保険事業に特化した役割を担って、当法人事業の運営に邁進してきましたが、今後はこれまで培ってきた知識や経験、地域などとの繋がりを精神科医療に活用できるよう模索していきたい所存です。そして、地域包括ケアシステムの構築には医療と介護の連携が必要とされていることから、少しでも早く精神科医療を理解し、その上で介護保険事業である認知症疾患療養病棟ファミリアのより良い転換に携わっていきたくと考えております。

今後も、地域住民の皆様の健康保持に万全を期せるための体制整備と、これからも盟侑会の職員が明るく働き、その気持ちが、患者様や利用者様への思いやり、温かみのある医療・介護サービスとして伝わる環境を続けていける職場づくりに専念していきたいと思っております。

事務長(島松病院及び介護老人保健施設アトライフ恵庭兼務) 齊藤 英樹

第30回 全国介護老人保健施設記念大会 別府大分に参加して

この度、令和元年11月21日～22日に大分県別府市にて開催された、第30回全国介護老人保健施設記念大会 別府大分「地域と共に紡ぐ令和老健～豊の国から真価・深化・進化～」に参加させて頂きました。

開会セレモニーでは、当施設『中村 君代』看護部長が令和元年度 介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣賞で表彰されました。

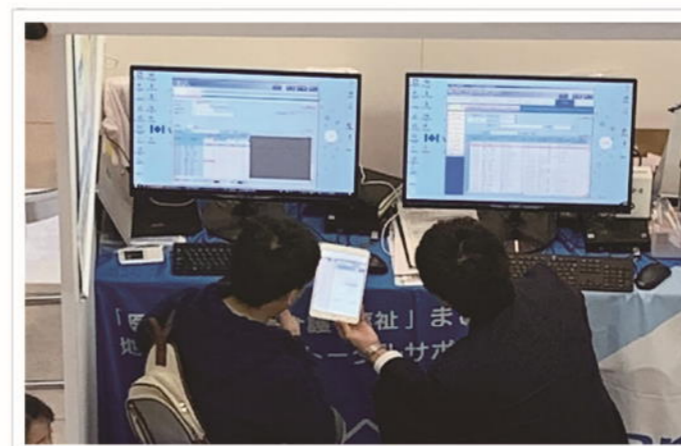
本大会では記念講演やシンポジウム、演題発表などのプログラムが開催され、また多数の福祉・医療機器メーカーが出展されており見学させて頂きました。タブレットを使用したケア記録システムや、見守りカメラ、AIがケアプランの作成をサポートしてくれるソフトウェアなど革新的な機器が展示されており、様々な体験させて頂きました。

歩行アシスト機器を体験し、リハビリのサポートやデイケアの外部へのアピールにもなる為、導入している施設が増えてきているとの説明がありました。現在、人材不足・(職員の)高齢化といわれている福祉業界ですが、当施設の認知症専門棟では職員の平均年齢が約43歳です。数年後・数十年後を想定して、業務の整理・見直しが必要になってくると思われます。

サポート機器や電子カルテ・ケア記録システムの企業ブースを主に回ってきましたが、特に気になった機器ではケア記録システムで、システムに対応している体温計で数秒の速さで検温が出来て、検温しそのまま自動で記録してくれ画期的でした。現在の検温と記録にかかっている時間が大幅に短縮され業務の改善になると思いました。導入までには費用や職員への研修などが必要となってくる為、検討する事柄は多くありますが、未来の為に検討していく事が大切だと思われます。他にも色々なサポート機器を見る事が出来て、今後福祉の現場がどんどん変化していく事が楽しみと思える貴重な機会となりました。

次回の全国介護老人保健施設大会は令和2年11月11日～13日、宮城県で開催されます。「地域で生き抜くを支える今、老健が進む道～災害(震災)と認知症から学ぶ地域共生社会の姿～」というテーマとなっています。次回も開催されるのが楽しみです。

介護老人保健施設アートライフ恵庭 介護支援専門員 本間 裕



05 盟侑フライパン

NEW! 乳和食について

みなさんはご自身の適切な塩分量を知っていますか？

日本人の食事摂取基準2015年度版では男性一日8g未満、女性一日7g未満となっていますが、食事摂取基準2020年度版では男性、女性ともに現在よりも0.5g減量となります。塩分が過剰になりやすく、カルシウムが不足しやすい日本食の欠点を補う新しい和食のあり方として乳(にゅう)和食(わしょく)があります。

● 牛乳をダシとして利用する

牛乳を入れることにより、コクが増し、調味料を減らすことができます。(茶わん蒸し、豚汁など)

● 調味料をわる・のぼす

水代わりに牛乳を使うことにより、食材の臭みを消したり、旨味を残したまま減塩できます。(さばの味噌煮、南瓜のそぼろ煮など)



乳和食は減塩につながるだけでなく、高齢者に不足しがちな「たん白質」を摂取することができます。毎日の献立に乳和食を活用してみましょう。

06 えにわ市民文化祭に参加して

令和元年10月11日～13日の日程で「第64回えにわ市民文化祭(展示部門)」に患者様、利用者様によって製作された品々を展示させていただきました。作品は、当法人内の精神科作業療法・精神科デイケア・介護老人保健施設において、リハビリテーションや生活の一環として、患者様の達成感、有用感、自信、楽しみや作業技術を獲得する目的で作成した物です。

多くの患者さんはこの文化祭で作品を展示することを非常に楽しみにしており、飾られた作品を見学した際には、大変楽しそうに互いに作品を褒めあう姿が印象に残りました。また、室内展示の他に、体験コーナーとして(当法人のブースでは恒例としております)患者様と一緒に作成した「たこ焼きポン」というゲームを設置した所、沢山のの方に体験して頂きました。このような作品展示、体験コーナーを展開することによって、市民の皆様と患者様、利用者様、また職員とが相互に交流できることを実感できる場になりました。約450人という、大変多くの方々に見学していただき、アンケート方式で貴重なご意見や感想を頂きました。見学者の方が作成者への思いを寄せてくれたことを、ご本人にお伝えすることで、喜びや制作意欲に繋がったと感じています。ここに相互的な交流が成立したと大変嬉しく感じております。今後も、一層の努力を重ねて次回の展示に向けて日々の作品制作へと取り組んでいきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。



アンケート結果

1.作品について(作品の出来栄や飾る量)

① とても良い	169
② 良い	48
③ どちらともいえない	3
④ よくない	1

2.会場全体について(配置や展示方法など)

① とても良い	131
② 良い	70
③ どちらともいえない	6
④ よくない	1

会場内の様子



島松病院 社会復帰療法科

07 保育所さんぽ

えこりん村の「ファームツアー」

令和元年9月、楽しみにしていた遠足。保育所の子ども達は「えこりん村」を訪れました。今回は「みどりの牧場」エリアで体験できる「ファームツアー」に参加しました。「ファームツアー」は、トラクターの引っ張る客車に乗り、牧草地の間をゆっくりと進むツアーです。アルパカや羊などの動物を見ながら、のんびりとえこりん村の風景を楽しめます。途中、エサやり体験も出来ます。

ツアーの所要時間は30分ほどです。子ども達は、たくさんの動物を見ることができ、流れていく景色を飽きることなく楽しんでいる様子でした。

ツアーの後は「どうぶつタッチ」エリアで、アルパカの背中をタッチ!動物たちとのふれあいを楽しんでいました。

「みどりの牧場」では他にも牧羊犬と羊による「みどりの牧場ショー」や、レースの着順を予想する「ひつじレース」など、楽しいイベントがたくさんあります。興味のある方はお出かけしてみてくださいね。

※11月～4月下旬までは冬季休園中です。



院内保育所キューピット